

『ロニリ的思考力』を育み英作文にいかす活動

大阪私立羽衣学園高等学校 教諭 米田 謙三

高校2年 英語科 ロニリのちから

番組の特徴

中学、高校。そして大学、社会人になっても求められる論理的思考力（クリティカル・シンキング）を養う番組です。

研究の概要

英語で「自分たちのまち」を紹介することを通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。さらに事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。視聴をもとに、論理的思考力（クリティカル・シンキング）を養い、積極的な態度で言語活動に参加することで自己を表現し、他者とのコミュニケーションを図る。

授業デザイン（1 単位授業時間）

単元：英語表現Ⅱ

目標：多様な考え方ができる話題について、立場を決めて意見をまとめ、相手を説得するために意見を述べ合う。

導入

「接続表現」についての復習で3つの英文を内容がつながるように文章にする。主張→展開→結論の基本構成を復習する。

課題把握

結果や結論の原因を考える論理的思考法

番組視聴

「仮説形成」

自力解決

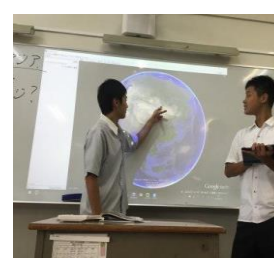
授業を振り返り自分の考えを様々な角度から考えて、その正当性を証明する文章を書く。

協働解決

文章を実際に交流学习のプレゼンテーションで発表するために互いに評価し合いブラッシュアップする。

まとめ

交流学习で海外の生徒に向けて発表する。自己評価・他者評価を実施する。



番組や関連動画クリップの活用意図

課題をもつための番組視聴

コミュニケーションを支えるものとしての文法の形式・意味・機能に習熟し、必要な場面で、適切な文法形式を用いて正しく表現することができる力を番組を通じて養う。

自力解決のための動画クリップ

文章の基本構成を学び、さまざまなテーマについて書かれた英文を、学んだ文法知識などを活用して読んだり聞いたりする力を身に付ける。

授業デザインにかかわる教師の工夫

ワークシートの活用

生徒たちが取り組みやすいようにワークシートを別途用意して番組に応じて文章を書かせた。自分の思考をチャートにして書き込ませた。

タブレットの活用

タブレットを用意していつでも番組を振り返ることができるようにした。また何度でも視聴可能にした。

グループでの発表活動

お互いが伝えたい情報を事前に発表し合い論理的な文章にまとまっているかを確認しあって、それを実際に交流学习のプレゼンテーションで発表する。

生き生きと学ぶ子どもの姿

子どもの自己評価から

- 番組を見て英文を読んだり聞いたりするときは、多少難しいことがあっても、前後関係などから意味を考えることが大切である。また、発信の大切さを改めて認識した。
- 実際の交流で活用することができた。

評価シートから

- 実際の交流で言いたいことを整理し、モデルに従って適切な形式でまとめて使うことができた。
- 「主張→展開→結論」に従い表現するようになった。

同僚の評価

- 学んだ文法知識などを活用して読んだり聞いたりして理解すること、それを実際の交流活動で活用することは重要である。

実践を終えて

適切な文法形式で正しく表現し、伝えたい情報を論理的にまとめることができるようになった。実際に交流学习に活用することで、多様な観点から考察する力や論理展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を身に付けた。今後は、即興で伝えたい内容を整理して論理的に話す力、他者に質問や意見を述べる力、相手を説得するために意見を述べる力を身に付けさせたい。